



PDA 東京都立西高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年10月27日(火) 15:30-18:00

会場：東京都立西高等学校 (Zoomを用いたオンライン開催)

参加者：生徒26名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

ディベートを始める前に、ルールの復習や POI(Point of Information)の練習を行いました。即興型英語ディベートをするのは初めてだという生徒が大半を占め、やや緊張している様子でしたが、恒例の POI の練習を通して緊張を和らげました。



POI の練習



ルール説明

POI の練習を終えると、早速実践です。準備時間はチームメイトと協力してアイデアを出し合いました。ディベートでは、ルールを確認しつつ、POI をしてお互いの内容に対する理解を深めながら議論しました。「それは部分的には正しいものの、それが全てではない。」と相手の主張を一部譲歩した上で反論を行ったり、「相手チームが悪いといった問題はむしろいいことなのである。」と、価値観をひっくり返すような反論を行ったり、説得的な分析が飛び交いました。



準備時間・ディベート中の様子

続く第2ラウンドでは、1ラウンド目でジャッジから褒められた点をさらに伸ばそうとする姿勢が見られたり、改善点をうまく活かそうとしたりする様子が見られました。相手の話を全て理解しようと全身を耳にしてお互いのスピーチを集中して聞きました。ジャッジによるコメント終了後も、いい具体例を思いつくるにはどうしたらよいか、英語が上達するには何をすべきかなど質問が続き、英語や論理的思考に対する意欲的姿勢が見られました。

最後に、今回ベストディベータに選ばれた生徒が「思ったことをとっさに話すことが難しかった。相手の意見を踏まえた上で反論をすることが重要だと思った。」「日本語で考えたことを英語で言おうとしてもサッと英語が出てこない。まとめのスピーチをするのは日本語でも難しそうで、英語でするのはさらに難しかった。」「言いたいことが言えず、もどかしく感じた。このもどかしさをバネに頑張りたい。」と感想を述べました。



ベストディベータに選ばれた生徒による感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の言いたいことを英語に変えたときの単語がすぐに思い浮かばなくてもどかしさを感じた。
- ・英語ディベートでは、英語とディベートの能力をどちらも向上させることができ、素敵な競技だと感じました。
- ・自分ができないことを積極的にやったりして自分のトーク力や他の人のトーク力を知ることが出来た。
- ・英語をもっと勉強して、自分の意見を正確に言えるようになりたいと思いました！
- ・英語の成績は悪いけれど一回戦に比べて進歩することができてよかった。アドバイスもとても分かりやすかった。
- ・緊張感がある中で自分の意見を述べるのが、すごくドキドキしたが新鮮な体験でとても勉強になった。日本語では言えることがとっさに英語に出来ないもどかしさや、相手への否定が緊張で浮かばない焦りを体験した。この悔しさをこれからの勉強にいかしたい。
- ・ディベートに必要である、すぐ考える力を身につけることができた。
- ・英語で思ったことをとっさに言うのは難しかったし、相手の反論や意見を踏まえてもう一度、というのも難しかったです。リスニング力をもっと上げようと思いました。ジャッジの方々、具体的かつわかりやすいアドバイスありがとうございました！ディベートに対しては不安だらけだったけど楽しめました！英語の勉強頑張ります！